

## 会 議 記 録

会議名称	令和元年度第1回社会教育委員の会議
日 時	令和元年6月17日(月)午後5時27分～午後7時02分
場 所	東棟6階 教育委員会室
出席者	委員／山口、石田、朝枝、南、檜枝、赤池、天野、内山、笹井 区側／教育長、生涯学習担当部長(中央図書館長)、生涯学習推進課長、社会教育センター所長、生涯学習推進課長代理(管理係長)、社会教育推進担当係長(社会教育主事)、教育連携担当係長(社会教育センター社会教育主事)、管理係主査、社会教育センター主査(社会教育主事)、管理係主任
配付資料	<p>&lt;配付資料&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 杉並区社会教育委員名簿</li> <li>2 杉並区社会教育委員の設置に関する条例・同条例施行規則</li> <li>3 教育委員会委員・管理職等一覧／教育委員会係長級職員一覧</li> <li>4 「杉並区教育ビジョン2012推進計画」の改定について</li> <li>5 杉並区区立施設再編整備計画(第一期)第二次実施プラン(令和元～3年度)－抜粋－</li> <li>6 杉並区立図書館協議会委員名簿</li> <li>7 杉並区青少年問題協議会委員の推薦について</li> <li>8 すぎなみ教育報No.233 <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ：すぎなみ協働プラザ・講演会「日本のアニメの礎」(朝枝委員配付)</li> </ul> </li> </ol>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長挨拶</li> </ul> </li> <li>2 委員等紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員自己紹介</li> <li>・事務局紹介</li> </ul> </li> <li>3 議長・副議長の選出</li> <li>4 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉並区立図書館協議会委員の推薦について</li> <li>・「杉並区教育ビジョン2012推進計画」の改定について</li> <li>・杉並区区立施設再編整備計画(第一期)第二次実施プラン(令和元～3年度)に基づく、次世代型科学教育の新たな拠点の整備に関する検討について</li> </ul> </li> <li>5 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉並区青少年問題協議会委員の推薦について</li> <li>・今年度の予定について</li> </ul> </li> </ol>

	6 会議日程 ・次回の日程 7 閉会
--	--------------------------

(意見要旨)
<p>○生涯学習推進課長 会議を進行する議長、副議長については、社会教育委員の設置に関する条例及び同条例施行規則に基づき選出することになっており、それまでの進行を事務局で担わせていただく。                  それでは、初めに教育長よりご挨拶させていただきます。</p> <p>○教育長 引き続き委員をお引き受けいただいた委員の方、また、新しく委員をお引き受けいただいた委員の方々、改めてこれからの2年間でよろしくお願ひしたい。今年からの3年間は「杉並区教育ビジョン2012」の最後の期間になる。これは、区の総合計画によるさまざまな区の施策を進めて行く最後のタームと重なり、私どもの教育ビジョンの10年間でまとめていく大事な時期である。この3年間にはセシオン杉並や中央図書館の改修、また新しい次世代型科学教育の拠点づくりと大きな施策を進めつつ取りまとめていく期間ともなる。大いにお力添えをいただき、教育ビジョンの新しい方向性についてもご意見を賜りたい。</p> <p>○生涯学習推進課長 では、第16期委員の自己紹介をお願いしたい。                  (各委員自己紹介)</p> <p>○教育長 皆様、どうぞよろしくお願いいたします。                  ( 教育長、公務のため退室 )</p> <p>○生涯学習推進課長 続いて、事務局職員の自己紹介させていただきます。                  (各関係者自己紹介)</p> <p>○生涯学習推進課長 では、これより議長の選出に入る。                  「社会教育委員の設置に関する条例施行規則」では、委員の互選とある。どなたか立候補、あるいはご推薦はないか。</p> <p>○委員 笹井委員は長く関わっていらして適任だと思うのでお願いしたい。</p> <p>○生涯学習推進課長 笹井委員にどの推薦だかがいかか。                  ( 拍手 )</p> <p>○生涯学習推進課長 それでは、笹井委員、よろしくお願いいたします。</p> <p>○議長 これまで社会教育委員会会議に関わってきて、とても勉強になっている。もう少しこの会議の議論が行政の中に反映できないかとも考えてきたので、今期は皆さんにもご理解をいただき、ここで検討されたことが、少しでも杉並の社会教育行政に反映できるように努力していきたいと思う。                  それでは、副議長の選出をしたいが、どなたか立候補やご推薦はないか。                  もしないようであれば、内山委員を推薦したいと思うがいかか。                  ( 拍手 )</p> <p>○副議長 様々なお立場の皆様の意見を伺い、私の専門分野がどういう役割を果たしていかなければならないかという視点を持ちながら努めていきたい。</p>

- 議長 それでは、報告事項の杉並区立図書館協議会委員の推薦について。
- 社会教育推進担当係長（社会教育主事） 杉並区立図書館協議会委員の推薦については、すでに区や地域での経験を考慮し、ご本人の内諾を得て推薦させていただいた。

- 議長 ○○委員、どうぞよろしくお願ひします。

- 議長 次の報告事項「杉並区教育ビジョン2012推進計画」改定について。
- 社会教育推進担当係長（社会教育主事） 3カ年ごとに「推進計画」の立て直しを行ってきた「杉並区教育ビジョン2012」だが、設定して7年が経過した。今回は、昨年11月に改定となった「杉並区総合計画」等との整合を図り、また区民意見の手續などを行った上で、今年度からの3カ年度を計画期間とした最終計画を改定した。

このうち社会教育に関係する主な取組として、施設の老朽化が著しい社会教育センターを大規模改修し、合わせて必要な諸室の精査と機能の見直しを行う。図書館ではICTを活用した効果的な蔵書管理に向けた検討を進めるとともに、中学生・高校生向けのサービスをさらに充実する。加えて中央図書館の大規模改修工事や永福図書館の移転改築・複合化の建設工事を進め、中央図書館は令和2年9月、永福図書館は令和3年4月にリニューアルオープン予定。同時に、高円寺図書館の改築・複合化に向け設計に取り組む。

そして、科学教育の推進では引き続き関連団体等と連携・協働による次世代型科学教育事業を実施するほか、次世代型科学教育の新たな拠点整備を有識者等の意見を踏まえながら進めるとともに、体験交流の推進では子どもたちの多様な体験交流事業を行う。

概して言えば、生涯学習としての学び環境の再整備のタイミングに当たる3カ年ということになり、その整備期間にあっても、区民の皆さんの学びの機会というものを著しく影響を与えるような展開にしない方法を考へている。

今後はこの改定に基づき、具体化を図っていく取り組みになる。

- 議長 次の、杉並区立施設再編整備計画（第一期）第二次実施プラン（令和元～3年度）に基づく、次世代型科学教育の新たな拠点の整備に関する検討について。
- 生涯学習推進課長 こちらも「杉並区教育ビジョン2012」と同様に今年度からの3カ年度の取組となるもので、地域の説明会、パブコメを経て、平成31年2月に策定されたものである。

社会教育、生涯学習に関係するところでは、統合後の杉並第四小学校の既存校舎を整備し、利用することがある。具体的には、現在ある震災救援所機能を維持するため校庭をオープンスペースとして確保し、体育館等の施設は避難場所として活用する。また、校庭は高円寺地区小中一貫教育校の部活動等を補完する場としても活用する。既に中にある高円寺北子供園については、3年保育に拡充する。そして、地域のイベントやコミュニティ活動、若者のさまざまな活動など多目的に利用できる場や、高円寺駅に非常に至近な立地条件を踏まえた次世代型科学教育の新たな拠点を整備することになっている。

この中の次世代型科学教育の新たな拠点の整備については、現在の身近な施設に向いて行っている出前型・ネットワーク型の科学教育事業の展開とともに、今後は「日々進展する最先端の科学に触れ、いつ来ても新たな発見が得られる参加型・体験型の企画を提供する次世代型科学教育の新たな拠点

を、統合後の杉並第四小学校跡地を活用して、民間活力の導入を視野に整備」していくとしている。ここで「民間活力の導入を視野に整備」としているのは、既存の校舎を利用して整備するには多額の経費が必要になり、経費の抑制、歳入の確保の観点から、民間事業者の資金や経営ノウハウを積極的に活用し、施設運営の効率化を図ることが必要になるという視点もあるが、事業運営での活用、さらに民間事業者の参入可能性の調査研究をするためのサウンディング型市場調査の導入など、さまざまな視点から民間活力の導入に向けて検討を進めていくことである。

このサウンディング型市場調査は、杉並区に前例がなく、次世代型科学教育の新たな拠点を含む杉四小の跡地活用に初めてこの手法を取り入れることになる。この市場調査によって事業者が決まることはなく、公有地の活用や民間サービスの導入などの取り組みにおける内容、公募条件等を決定する前段階で当該案件の活用の可能性を最大限に高めるため、公募により民間事業者の意向調査や民間事業者との直接対話を行い、取り組みの内容、公募の条件等に関する整理を行うためのものである。これにより、区にとっては事業検討に向けて市場性の有無やアイデアを把握するほか、検討段階における公平性・透明性を確保できるなどのメリットがあり、民間事業者にとっても自らのノウハウと創意工夫を取組に反映し、参入しやすい環境にすることができる。

今回の杉四小跡地活用は、次世代型科学教育の新たな拠点はもちろん、子供園をはじめ地域コミュニティ施設、高円寺学園の補完機能などのグラウンド、学習活動園と呼ばれているビオトープなどもあり、それらを含めて、施設の運営・管理ができる場所はあるか。また、そこに民間が入る市場性というものがあるかどうかを調査する。そして、次の段階で事業者を募ることになるわけだが、その際の条件にどのようなことが整えば参入できるかということも含め、まず意見を伺うようにしたい。

流れとしては、6月中にこの活用について意見を伺いたいことを投げかけ、実際に杉四小の建物、敷地、駅との関係等も含めて見ていただき、質問もお受けして、その上で民間事業者からご意見をいただく。この対話については公表をしながら、最終的にはこちらの活用について公募する際の中身を区の方で決めていくということになる。

○議長 今の説明に関連して、ご質問等いかがか。

○委員 サウンディング型市場調査の似たような自治体の事例はあるか。

○生涯学習推進課長 横浜市が先進的に取り組んでいる。サウンディング型市場調査にはいくつかの段階に応じて聞くタイミングがあり、例えば一番の初期段階での投げかけとして、更地を福祉的な目的で使いたいけどどのように活用したらいいか意見をもらおうというようなものもあったことを聞いている。

ただ、今回の場合は、施設再編整備計画で基本的に入るものが決まっております、次世代型科学教育もこれまでの社会教育センターでの取り組みを維持、継承することが前提なので、プラスアルファの部分として事業者の様々な考え方に基づいてできる提案をしていただくことになる。その結果、例えば、市場性がないというのも一つの結果であると言われている。

○委員 市場性は、利益の上がるモデルができるのなら必ずあることになるが、区が狙う次世代型科学教育の拠点との整合性がどうかにかかると思う。

○委員 科学教育という中で公共性をどう担保するかというのはとても重要

だと思うが、そのような観点で投げかけていく予定か。

○生涯学習推進課長 もちろん民間に丸投げをするようなイメージはなく、これまでの次世代型科学教育の考え方を大きく変えることも考えていない。震災救援所や高円寺学園の補完機能を維持し、高円寺地域の方の利用が図れる施設にもしていくにあたり、民間事業者がヒントを与えてくれるか、参入する余地があるのか、そのあたりをまずお聞きすることである。

○議長 杉並区として、まず公共的な価値を優先しつつも、民間企業の目線からの受けの良さや人の集まりやすさ、お金も入ってくるかどうかなど市場レベルの目線で見ようとする事だと思う。最終的な意思決定は、やはりそれが公共目的に合致するかどうかになるのではなかろうか。難しい問題であるが、きちんと議論して決めていただきたいと思う。

では、協議事項の杉並区青少年問題協議会委員の推薦に移りたい。

○社会教育推進担当係長（社会教育主事） 今回、青少年の健全育成にかかわる諸政策の調整や意見交換を主に行っている協議会である。社会教育の立場から意見をいただくという趣旨でご推薦いただきたい。

○議長 どなたかいかがか。もしないようであれば事務局からご提案いただけないか。

○社会教育推進担当係長（社会教育主事） 杉並の取組みに精通され、社会教育委員に複数年かかわっていただいている〇〇委員を候補としてご提案させていただきます。

○議長 〇〇委員、お願いできるか。

○委員 私でよろしければ受けたいと思う。

○議長 よろしく申し上げます。

（拍手）

○議長 次に、今年度の予定について。

○社会教育推進担当係長（社会教育主事） この会議の開催頻度としては、おおむね二カ月に1回程度と考えている。会議の中身次第では少し頻度を高めることもあるが、緊急度というよりも、きちんと積み上げながら1年次をあるいは2年次を進めていきたい。将来に向けての課題の整理にも取り組むことが、次の教育ビジョン、あるいは新たな教育ビジョンの策定、そのもとでの次期の推進計画への中身として反映していることにもつながると考えて、この2年間を進めていくのが望ましいと考えている。次回以降の会議日程は、改めてご案内させていただきます。

○議長 それでは、最後に部長からご挨拶を。

（生涯学習担当部長 挨拶）

○議長 これで閉会します。ありがとうございました。